

# 20 ハード・ソフト一体的な水災害・土砂災害対策について

【国土交通省】

## 長野県の状況

### ●気候変動を踏まえたハード・ソフト対策の推進

- ・ 広大な県土を有し、急峻な地形、脆弱な地質を持つ本県では、令和元年東日本台風をはじめ毎年豪雨による甚大な被害が発生
- ・ 気候変動の影響により、今後さらに災害リスクが増大
- ・ 激甚化・頻発化する自然災害から地域の安全・安心を確保するため、長野県独自の取組を含むハード・ソフト対策を推進



令和元年10月長野市

千曲川堤防決壊



令和3年9月  
茅野市

土砂・洪水氾濫により人家・県道等が被災



令和3年8月木曽町

木曽川護岸被災

### 流域治水の推進 治水ONE NAGANO

令和4年12月



流域治水シンポジウム  
(中部地整と共同主催)

令和4年度～



市町村との「流域治水キャラバン」

### 取組

- 県下7水系の「流域治水プロジェクト」に基づき、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し、ハード・ソフト対策が一体となった水災害・土砂災害の事前防災対策を加速
- あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」への転換を図るため、各取組の数値目標を設定した県独自の「長野県流域治水推進計画」を策定（R3.2）し、計画的な取組を実施中
- 「流域治水」の推進には、**県民や事業者等の協力**が必要不可欠であることから、「**流域治水キャンペーン**」による普及啓発の取組を実施中
- 「流域治水」を**本格展開**させていくため、市町村が持つ課題等を共有し、よりよい方策を検討していく「**流域治水キャラバン**」を実施

## 課題

- 毎年のように豪雨による甚大な被害が発生しており、**気候変動に対応した治水対策**が急務
- あらゆる関係者の協力を得て「**流域治水**」への転換を図るためには、**雨水貯留浸透施設**の設置など、各取組に係る継続的かつ一体的な**財政支援**が必要
- **逃げ遅れゼロや流域治水の深化**に向け、様々な普及啓発活動を行っているが、**流域治水の自分事化**までは至っていない状況
- 国管理区間と県管理区間が混在(いわゆる「中抜け区間」)する**千曲川・犀川**や、複数の県を流下する**天竜川・木曽川**では河川管理者が複数存在し、各々の財政状況、整備の優先度等が異なることから、**水系一貫した計画に基づく河川整備**を行うためには様々な調整が必要
- **急流河川における河床の異常洗堀による被災**など、全国一律の採択要件を満たさない場合でも**災害が発生している**状況
- 大規模災害時には、被害調査・査定設計が大きな負担となることから、**災害査定の手続き改善や技術的助言等**が必要
- 大雨による**土石流、土砂・洪水氾濫や流木災害**が頻発しており、**計画的な施設整備や再度災害防止対策**が必要
- 防災意識の高い地域では、土砂災害による人的被害を免れる事例もある一方で、防災意識の低い地域では、人的被害も発生していることから**地域主体による防災力向上の取組に積極的な支援**が必要

## 提案・要望

### 1 流域治水の推進

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」について、直轄による千曲川本川の改修・遊水地・ダム再編事業の促進と、県事業を含むプロジェクトの推進に関する予算を確保すること

各水系の「流域治水プロジェクト」について、位置付けた事業の整備促進を図るとともに、天竜川水系においては、気候変動などを踏まえた治水対策の見直しにあたり、戸草ダムを含め、より**効率的、効果的な対策を検討**すること

流域治水の取組への財政支援について、地方自治体が利活用しやすいよう、流域治水対策に係る総合的な交付金を創設すること  
流域治水に係る**広報活動を強化**するとともに、流域関係者に分かりやすく伝わるよう、情報発信の可視化・高度化を図ること

### 2 国による河川の一元管理

千曲川・犀川の「中抜け区間」について、信濃川水系連絡調整会議等での議論・検討を継続し、喫緊の課題に対して**技術・財政面での支援を引き続き講じる**こと

県土の骨格をなす**千曲川・犀川・天竜川・木曽川等の県管理区間**について、地方の財政状況や、激甚化・頻発化する豪雨災害への対応などの実情を踏まえ、様々な課題を解決した上で、国による一元管理とすること

### 3 災害に対する支援強化

災害の採択範囲について、近年の気候変動を踏まえた凍上災の要件の見直しや、急流河川特有の被災事例などを勘案し地域の实情に応じた要件を検討するとともに、同一施設、同一区間の被災については、原型復旧で一体的に被災原因を除去できる制度とすること

令和4年8月の豪雨災害において本県で行われた「早期確認型査定（試行）」について、早期に本格運用すること

### 4 土砂災害の防止・軽減に向けたハード・ソフト一体となった対策の推進

土砂・洪水氾濫や同時に流出する**流木の対策計画策定**についての支援の拡充や、土石や流木により埋塞した砂防堰堤の機能を早期に復旧させるために、災害復旧事業として緊急的な除石が可能となる制度の拡充をすること